

2020 Wako's Super Kart &

JKcup Race Report



開催コース/筑波サーキット (茨城県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/2020年3月22日 (日)
天候/晴 路面状況/ドライ 周回数/12周

WAKO'S スーパーカートカップ 開幕戦

東京で観測史上最速となる桜の開花宣言が出されたその一週間後、筑波サーキットで開幕戦を迎えた SK Cup。一時は新型コロナウイルスの影響からその開催も危ぶまれたが、様々な感染予防対策を講じたことで無事にスタートが切られることになった。

まず SK1。こちらはオープニングラップから YUUKA と保立翔による激しいトップ争いが展開する。時折見せるインフィールドでのパッシング合戦は見応えたっぷりで、最後は YUUKA が逃げ切る形でポール to ウィンを達成。

SK2 は筑波職人の異名を取る岩崎浩二が珍しく 1 コーナーで単独スピンを起こし、オープニングラップから姿を消す。一方、安定した走りで終始トップをキープしたのが藤木章二だ。ディフェンディングチャンプに相応しい完璧な走りと共にまずは一勝をその手にした。



レース後、汗びっしょりで笑顔を見せた SK1 優勝の YUUKA



SK1 表彰式。左から 2 位の保立、優勝した YUUKA、3 位の中沢康貴



その強さは 2020 シーズンも健在。SK2 クラスを圧勝で優勝した藤木章二



SK2 表彰式。左から 2 位の中村秀人、優勝した藤木、3 位の伊藤正博



JAPAN KART CUP 筑波開幕戦

■ JAPAN KART CUP&HDX シリーズ
 開催コース/筑波サーキット (茨城県)
 主催/日本スーパーカート協会
 開催日/3月22日(日) 天候/晴 路面状況/ドライ

ジャパンカートカップ開幕戦は汗ばむような陽気に恵まれた三連休最終日の3月22日にスタート。クラスは WR250、YZ125、YZ85、OPEN、Enjoy の5クラスで、お馴染みのメンバーから久しぶりの面子まで、様々なドライバーが集結した。

まず、オープニングラップ。先導する SC に続いて 10 台のマシンが隊列を形成していくのだが、ここで一つハプニングが。規定ピットイン数を早めに消化しようとして隊列を離れ、早々にピットへ向かうマシンが、ピットロードを走行中に本線を走る SC を追い抜いてしまったのだ。これは場合によっては危険なシチュエーションを引き起こす可能性もあるため、レース後の表彰式で主催者より注意喚起がなされていた。

さて、レースの方は昨年の開幕戦ウィナーでもある WR250 クラス・ウォーズマンレーシングが安定した走りで行周を重ねていくと、54 周を走り切ったところでファーストチェッカー。記念すべき開幕戦ウィナーに2年連続で輝いた。



総合トップのウォーズマンレーシング



総合2位の YZ125 のエッフェガーラ 61RSR



OPEN クラス優勝、パワークラスター K3 シニア



YZ85 は高根沢オートクラブ OB が勝利



Enjoy 優勝のパワークラスター K3 マスターズ



新型コロナ対策でドラミ関係は全て屋外で行われた